

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和2年度技術情報第3号（飼料作物のツマジロクサヨトウ）について（送付）

奄美地域及び県本土では飼料用トウモロコシでツマジロクサヨトウ幼虫による食害が確認されました。飼料用トウモロコシ等のほ場では、今後の発生に注意して適切な防除を行ってください。

## 令和2年度技術情報第3号

1 農作物名 飼料用トウモロコシ、ソルガムおよびスイートコーン

2 病害虫名 ツマジロクサヨトウ

### 3 発生状況

**成虫：**奄美地域（瀬戸内町，喜界町，徳之島町，知名町，与論町）では、1～5月のフェロモントラップに成虫の誘殺が認められ、特に、徳之島町，知名町及び与論町では4月の誘殺数が増加している。また、県本土（枕崎市）での成虫の誘殺は3月から、熊毛地域（屋久島町）では4月から認められている（表1）。

**幼虫：**奄美地域（徳之島町，与論町）における4月のほ場調査では、3月播種の飼料用トウモロコシほ場で幼虫による食害が確認され（図1，図2），県本土（枕崎市）でも5月のほ場調査で幼虫及び食害が認められた。なお、現時点では、奄美及び熊毛地域のさとうきびほ場における幼虫による食害は確認されていないが、沖縄県（石垣島）では令和2年4月にさとうきびほ場で食害が認められている。

### 4 防除対策

- ツマジロクサヨトウの食害は飼料用トウモロコシ，ソルガム，スイートコーンで多いので、今後，気温の上昇とともに発生が増加すると考えられる。
- 本種が多発すると減収につながることから，生育初期からほ場をよく見回り，幼虫の早期発見に努める。
- 幼虫は，生育初期から中期までの植物に寄生することが多いので，発生を確認した場合は，直ちに農薬による防除を実施する。
- ツマジロクサヨトウの発生や防除に関する情報が農水省ホームページに掲載されている（[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)）



### 5 防除上注意すべき事項

- 発生ほ場においては，ツマジロクサヨトウの防除に使用できる農薬の散布を行う。
- 農薬の使用にあたっては，散布は無風又は風が弱い時に行うなど近隣に影響が少ない天候

や時間帯を選び、風向、防除器具のノズルの向き等にも十分注意するとともに、隣接農作物の栽培者に対して散布予定農薬の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、農薬の飛散（ドリフト）に留意する。

(3) 老齢幼虫では農薬の効果が低下するので、幼虫を確認したら直ちに防除を行う。

(4) トウモロコシ、ソルガムの混播ほ場では双方に使用できる農薬を選定する。

## 6 参考データ



図1 ツマジロクサヨトウ幼虫（老齢）



図2 ツマジロクサヨトウ幼虫による被害

表1 県内各地におけるツマジロクサヨトウフェロモントラップ誘殺状況（5月8日現在）

市町村	トラップ 設置日 (2019年)	誘殺数（頭）／トラップ <sup>1)</sup>									
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	計
指宿市	12/4				0	0	0	0	0	1	1
鹿屋市	9/18		1	0	0	0	0	0	1	0	2
大崎町	9/17		1	0	0	0	0	0	0	0	1
鹿児島市	12/4				0	0	0	0	0	0	0
霧島市	9/17		0	0	0	0	0	0	0	1	1
阿久根市	12/4				0	0	0	0	0	0	0
薩摩川内市	9/17		4	4	2	0	0	0	0	0	10
枕崎市	12/4				0	0	0	1	1	0	2
西之表市	9/9	4	8	13	7	0	0	0	0	0	32
屋久島町	11/15			0	5	0	0	0	1	0	6
龍郷町	9/9	7	9	10	3	0	0	0	0	0	29
瀬戸内町	11/15			0	0	0	0	0	1	0	1
喜界町	11/12			0	0	5	7	8	5	3	28
徳之島町	9/11	5	5	4	3	4	0	1	21	13	56
知名町	11/14			1	8	2	4	26	28	4	73
与論町	11/14				3	13	6	22	38	7	89
計		16	28	32	31	24	17	58	96	29	331

1) トラップ調査は毎月5日、20日を目安に2回実施。